



特集 現在進行中！
川口市の変化をみてみよう
～川口市男女共同参画推進条例施行10周年のあゆみ～



Interview

特定非営利活動法人
ヒールアップハウス

石崎 美智さん

現在進行中！ 川口市の変化をみてみよう

～川口市男女共同参画推進条例施行10周年のあゆみ～

川口市男女共同参画推進条例が施行され、今年度で10年目の節目となりました。みなさんはこの10年で、世の中の景色の変化をどのように感じているのでしょうか？

例えば、女性の生き方や性別に偏りのない子育てシーンにフォーカスしたCMやドラマが、より増えてきたように感じませんか？また、国においても法整備が進められ、男女共同参画を取り巻く環境は徐々に変化しているといえます。

川口市男女共同参画推進条例の中にある“参画”という言葉が、これからの豊かな社会をめざす大事なキーワードです。節目の年を迎え、もう一度このキーワードについて一緒に考えてみませんか？

川口市男女共同参画推進条例の柱

川口市男女共同参画推進条例に定められた基本となる考え方は、表1にある6つの柱です。このような社会が実現すると…

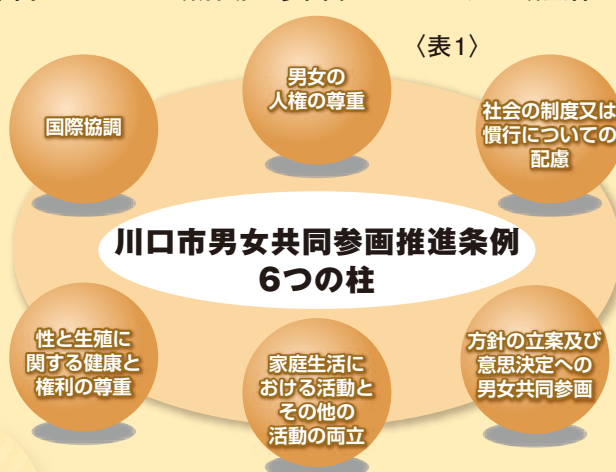
家庭では…性別による固定的な役割分担が解消され、家庭生活が充実します。

職場では…女性の政策・方針決定過程への参画が進み、多様な人材が活躍します。

地域では…さまざまな性別や年代のかたが地域活動に参画することで、地域全体が活性化します。

男女共同参画社会が 目指すもの…

“男性も女性も意欲に応じて、あらゆる分野で活躍できる社会”です。



参画とは…

単に参加するだけでなく、より積極的に意思決定過程に加わるという意味が込められています。

川口市男女共同参画に関する市民意識調査にみる10年間の 変化——関心を持つことからスタート！

この10年間で川口市民の男女共同参画に関する意識は、どのように変化したかまとめてみました。みなさんも抜粋した項目について一緒に考えてみませんか？

～市民のかたからの声～

男女共同参画社会について、自分の普通の生活とどう関わるのかわからない。

どんな場面においても男・女が対等に活躍するのが普通という世の中になってほしい。

これからの世の中を背負っていく子どもたちを健全に育成していける社会であってほしい。



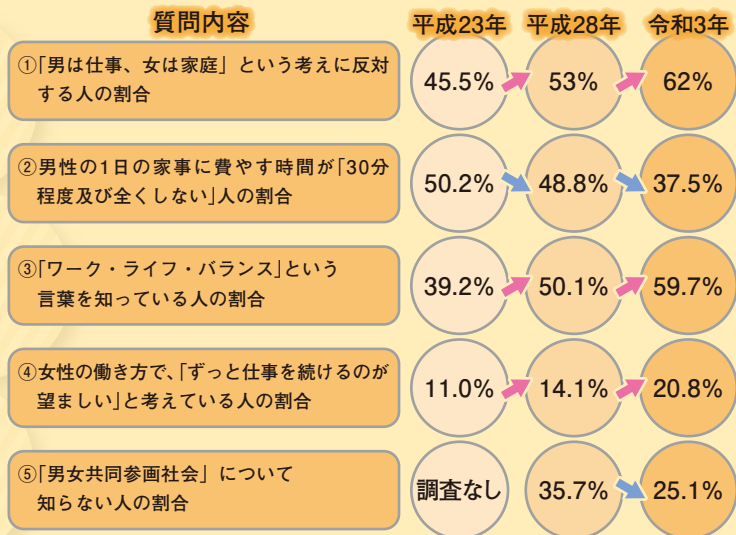
川口市「男女共同参画に関する市民意識調査」より

質問内容

令和3年度川口市「男女共同参画に関する市民意識調査」



調査対象(成人年齢以上の男女4,000人)



川口市の男女共同参画のあゆみ

一部ご紹介
します!

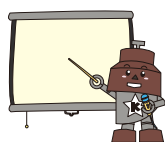
川口市では男女が共に活躍できる社会を実現するための取組を継続しています。

■市民に男女共同参画の意義を広めるイベントの企画・研究

男女共同参画のつどい (平成13年度～)

(毎年6月 男女共同参画週間に合わせて開催)

講演会やパネル展示などを通じて、男女共同参画社会の理念について理解を深めることを目的にしています。



カラフルCOLORFULふえすた

(平成11年度～) (毎年2月開催)

子育て、女性のキャリア、LGBTQなど、多様な生き方の提案や理解につながる展示、講演・パネルディスカッションを行っています。



川口の男女共同参画を

考える会 (平成15年度～)

市民がボランティアで男女共同参画について考え、セミナーなどで発信を行っています。



■家庭や教育の中で男女共同参画を啓発する取組

Co-Labo (昭和62年度～)

Co-Laboは、昭和63年、「川口の女性」から始まった男女共同参画の情報紙です。

時代に合わせたテーマをとりあげ、視点を変えて発信を続けてきました。



みんなが主役～家族の育児～ フォトコンテスト (平成22年度～)

(詳しくは裏表紙をご覧ください)

家庭内の男女共同参画について考えるきっかけになるような、家族で育児に取り組む写真を表彰しています。



いろいろがたのしい(幼児向け)

カラフル(中学生向け)

ハラスメント・DVをなくすための活動

男女共同参画の観点から、一人ひとりが安心し自信をもって輝く社会を作るため、幼児・小学生・中学生・高校生など、各世代に合わせた男女共同参画の大切さを伝える冊子や、ハラスメント・DV防止のための啓発物を作成し配布しています。



いま、あらためて——なぜ男女共同参画が必要なんでしょう？

“男女共同参画”の意義を考えてみましょう。国や自治体が男女共同参画を推し進める理由として、大きく2つの目的が考えられます。

・性別による役割分担意識の解消

「男性は仕事、女性は家庭」というような性別による固定的な役割分担意識は依然として残っており、女性の社会進出や男性の長時間労働などのあらゆる場面で問題が生じています。男性も女性も、お互いが望む生活スタイルや働き方を尊重し、人びとが窮屈に感じることはない社会の変化が必要になるでしょう。

・多様な変化への対応

近年、SDGsの取組やESGの観点が、グローバルな視点から注目されています。従来の考え方では解決できない社会問題が増えている昨今、多様な考えや意見を持ち、諸外国に後れを取らないことが重要といわれています。女性活躍を推進している上場企業では、女性の活躍が事業や経営上の課題解決につながると考えられています。

だれもが生きやすい社会を作る政策や環境の変化は、ますます求められるようになるでしょう。私たち自身が社会で自分らしく活躍できているか、この機会に振り返ってみませんか。

※1 環境 (Environment)、社会 (Social)、ガバナンス (Governance) の3つの頭文字。近年企業経営や投資活動において注目されている視点。

※2 内閣府「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」2022年版 組織トップのコミットメント～女性活躍推進への想いと取組～より

“共成”社会を目指しながら、
障がい者が社会参加できる施設を運営して15年。
今回は、起業家精神が旺盛な
NPO法人ヒールアップハウス石崎代表理事に
お話を伺いました。



NPO法人ヒールアップ
ハウス代表理事

ISHIZAKI MICH

石崎 美智さん

熊本県生まれ、地元で看護師として働き結婚を機に埼玉県へ。子育ての厳しさを体験し仕事を辞めざるを得なかった経験がある。現在は共働きの生活スタイルを模索しつつ日々奮闘している。1女の母。

サービスは何かないものかと、アイデアを温めています。

◆“共生”から“共成”への挑戦

昔は商品によだれが入っているんじゃないのなどと偏見の言葉を向けられたこともあり、社会の理解が追い付いていない部分で苦勞をしてきました。今は時代が変わり、そのようなことは言われなくなりました。男女共同参画という言葉は、男性も女性もお互いに歩み寄り、責任を負い共に活躍するという意味が込められていると思います。それと同じで、老若男女、国籍の違い、障がいの有無を問わず人びとが歩み寄り、対等で同じ目線に立った関係性を築くことが、これからの社会のポイントになってくると考えています。

親切にしなきゃいけない、やってあげるといった一方的な主張とならないよう、共に成長し何かを成し遂げる社会の一助となることが法人の理念です。そんな社会を実現するためのキーワードは“共生”ではなく、“共成”だと思っています。

これからも「買ってあげたい」商品ではなく「買いたい」と思っていただけのような商品を作り続けていきたいです。



◆地域福祉を目指して

川口市内で障がい者施設を運営しているヒールアップハウスには、3つの事業所があります。1つが“のびのび”、次に“にちにち”、最後に“晴れ晴れ”。利用者の数は延べ約100人です。障がいを抱えている人たちが地域で孤立せずに社会参加できる場として設立しました。施設に通う人たちは、年齢も20代から60代まで幅広く、通うようになった動機もさまざまです。

最初にオープンした施設は平成18年、3つの施設はそれぞれ役割が互いに異なります。“晴れ晴れ”では、「働く」と「暮らす」のどちらも大切に、力を合わせて食品や小物など、地域の自慢となるひと品を作っています。使用する食材やノウハウは全て“地元から”がモットーです。

◆“受け継ぎたい想い”を抱き

施設の1つ“晴れ晴れ”ではベーゴマクッキーを作っています。川口といえば鋳物、鋳物といえば玩具のベーゴマを思い浮かべるかたも多いのではないのでしょうか。晴れ晴れで何を作るか迷っていた時、あの懐かしいベーゴマを形にできればと考え、思い付いたのがベーゴマクッキーでした。ヒット商品を生み出すまでに鋳物業界のかたがたと協働しながら苦節2年、オリジナル商品の開発に無事成功しました。川口市立中央図書館に隣接している“カフェ&ふれあいショップ「ふらっと」”など市内の各所で販売しています。

引っ越して間もない新しい“晴れ晴れ”の施設の隣には、多くの人々が暮らす芝園団地があります。その立地と特色を活かし、近隣の皆さんに提供できる

取材を終えて

地域貢献の目線を外さず、経営的センスで無類のリーダーシップを発揮している印象を受けました。(中尾)

NPO法人ヒールアップ
ハウスホームページ





川口緑化センター樹里安 道の駅「川口・あんぎょう」



住 所 川口市安行領家844-2
定 休 日 園芸販売・レストラン・
和菓子販売店は月曜定休日
(※月曜祝日の場合は翌平日
が休み)



駐 車 場 有
問い合わせ先 公益財団法人川口緑化センター樹里安 Tel. 048-296-4021(管理事務所)

花樹木好きな市民にとっての穴場

さまざまな植物を、目で見て、近くで感じ楽しみたい、という人にぴったりの道の駅です。ゆっくり中を散策して見ているだけで、気持ち良い空気と花ばなの香りにリフレッシュできます。気に入った樹木や花ばなは購入可能で、他に



も埼玉、川口の物産や特製アイスクリームが販売されています。また、道路を挟むと、県内の農家さんが育てた野菜の販売店もあります。ちょっとしたドライブの途中に家族で立ち寄ったり、軽い飲食を楽しみながら植物に囲まれてのんびり過ごしてみませんか。



心は優しく、家庭はあたたかく

僕が夫に出会うまで

七崎良輔 著 文春文庫

伴侶と出会うまでの感動の青春記

大多数の枠からはみ出してしまうと普通じゃないと言われてしまう——誰もが尊重され自分らしく生きられる社会をめざしているにもかかわらず、知らないうちに自分の理想や価値観を押しつけている経験はありませんか？この本は、誰もが持つ生きる権利や命の尊さが、とても大切であるということに改めて気づかせてくれます。多様な生き方を考えるきっかけにしてみても？



1時間でわかる！

「家族のための在宅医療」読本

内田貞輔 著 幻冬舎メディアコンサルティング

在宅医療の入門書

近年、人口の4人に1人が65歳以上の高齢者という超高齢社会を迎える日本では「在宅医療」の重要性が高まっています。高齢社会の新しい医療の形について理解し、もっと気軽に在宅医療ならではのメリットを利用して、自宅でゆったりと療養生活を送ることができる例は多くあります。住み慣れた自宅に戻ると、それだけで病状が改善する高齢者も珍しくありません。ポイントや具体例がまとまっているので、より在宅医療をイメージしやすくなるでしょう。



増え続ける「在宅医療」 ～数年後、100万人以上とも

「在宅医療」という言葉を知っていますか。文字通り自宅で医療を受けることですが、これが毎年増え続けています。令和7年には100万人以上になるといわれています。背景に国による医療費の抑制があります。昔なら入院するケースも、軽症なら在宅でという流れになっているのです。自宅での医療なのでプライバシーがまもられ、人に気兼ねしなくてもよくなります。ただし、在宅で医療を受ける場合、対象は通院が困難な患者です。通院できる患者には保険診療は認められません。在宅医療を受けるには、通常かかりつけ医やケアマネジャーと相談し、治療計画やこれからの生活などを決めます。そして治療は計画に沿って、月に1～2回医師と看護師が来て医療処置をしてくれるのです。費用をかけ苦勞して通院しなくてもよいのです。





教えてきゅぼらん！

子どもの疑問を解決！なぜなに相談コーナー
5歳の女の子からの質問に答えよ！

『わたしの名前って変？』



ねえねえ、きゅぼらんは、
自分の名前は好き？



私の名前、なんだか男の子みたいで
変だねってお友達に言われたの。
もっとかわいい名前だったら
よかったなあ。

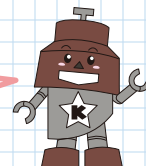


ううん、おうちに帰って
聞いてみるね！

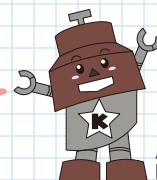
もちろんきゅぼ！どうして
そんなことを聞くきゅぼ？



そんなことないきゅぼ！
お父さんやお母さんが幸せを願って考えて
くれた、素敵な名前きゅぼ！
名前の由来を聞いたことはあるきゅぼ？



それがいいきゅぼ！
そしたらきっと、自分の名前も、
お友達の名前も、
大切にしたいきゅぼ！



川口市マスコット
「きゅぼらん」

<子どもと一緒に考える おすすめの本>



『しげちゃん』

作：室井 滋 絵：長谷川 義史 金の星社

女優の室井 滋さんが、自身の名前について葛藤した体験をもとにかいた絵本です。
ジェンダー意識が高まる現代において、子どもに中性的な名前をつける親も増えてきまし
た。どんな名前も、家族が一生懸命に考えた大切な名前です。自分や誰かの名前が、いかな
る場面でも尊重されるように、ぜひ親子で対話してみてください。

イベントREPORT！

こんなイベント参加しました！

編集委員レポート

男女共同参画週間記念事業

川口市男女共同参画のつどい

「家族の笑顔と時間の増やし方」

～人生を整え、夢を叶える片付け習慣術～

令和4年6月25日(土)～7月4日(月)

※10日間限定で講演会をYouTubeにて配信・公開

主催：川口市

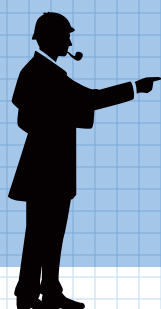
男女共同参画週間にあわせて記念講演がYouTubeにて期間限定配信されました。今回は“片付け
パパ”として活動している大村信夫さん。収納整理アドバイザー1級及び国家資格キャリアコンサ
ルタントとして、モノを整理することで活躍中のかたです。大村さんによると効率的な片付けは、
その気になればだれでも身につけられる習慣だといいます。

整理・収納・維持のサイクルを無理なく回すことが大切で、とくに“整理”が重要
だと説きます。大事なのは、こういう暮らしをしたいという自分の“心構え”だと話
します。

講演は個人的なエピソードも交え分かりやすく、最後まで興味深く視聴させていた
だきました。モノや出来事の整理によって自分の時間が豊かになり、自分の時間
を使って、他人の時間を増やすことが笑顔あふれる生活につながるという提言は説得力
がありました。(山谷)



講師：大村 信夫 氏



Kawaguchi News Report

4月から成人年齢が18歳に引き下げられました

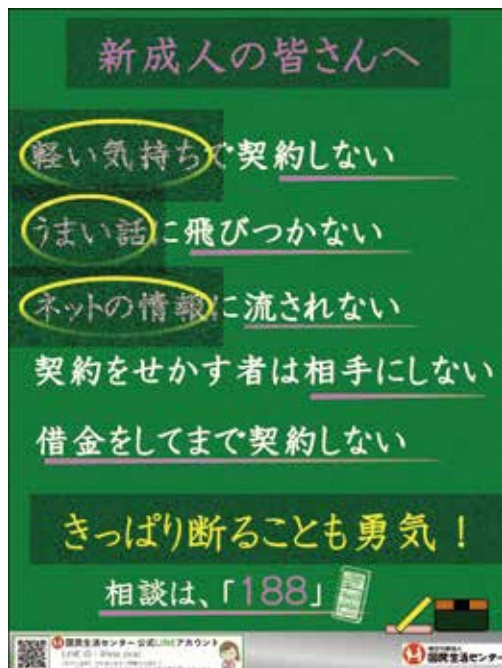
18～19歳の若者は、親の同意がなく1人で契約ができるようになった一方で、未成年者取消権を行使することができなくなりました。

それにより、悪質商法などによる消費者被害が懸念されます。被害を最小限にいとめるために、気付いたときにはすぐ、消費生活センターが運営する“消費者ホットライン188”に相談しましょう。

消費生活センターより、解決方法や状況に応じた助言を受けることができます。

※消費者ホットライン188に電話をし、音声案内に従って郵便番号を入力すると、最寄りの消費生活センターへ電話が繋がります。

もうけ話	美容関連	定期購入	SNS きっかけ
出会い系	18歳・19歳に気を付けてほしい 消費者トラブル 最新10選	異性・ 恋愛関連	
仕事関連	新生活関連	借金・ クレカ	通信契約



出典：独立行政法人国民生活センター 18歳から“大人”
18歳・19歳に気を付けてほしい消費者トラブル 最新10選

○DVに関する相談先

川口市配偶者暴力相談支援センター

窓口相談

●相談日時●

毎週 火～金曜日(祝日・年末年始を除く) 午前10時～午後5時

※事前予約制です

☎ 048-299-8162

女性のための電話相談

●相談日時●

毎月 第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日) 午後1時～午後3時

※ひとり30分まで相談を受けます。

☎ 0120-532-317

(相談日時のみ通話可)

その他の相談先

川口市役所 市民相談室 ※法律相談、ファミリー相談等(予約制)	
月～金(祝日・年末年始を除く) 8:30～17:15	☎048-259-9037 ☎048-259-9038
最寄りの警察署(生活安全課)	
月～金(祝日・年末年始を除く) 8:30～17:15	川口警察署 ☎048-253-0110 武南警察署 ☎048-286-0110

緊急の時は110番!

配偶者や恋人など親しい間柄で行われる暴力行為をDVといいます。殴る・蹴るだけが暴力ではありません。

- ☐ 何を言っても無視する
- ☐ 交友関係を制限する
- ☐ 避妊に協力しない
- ☐ 性行為を強要する
- ☐ 生活費を渡さない
- ☐ 暴言を吐く

☑(チェック)がひとつでもついたら、DVかもしれません。
一人で悩まずに、まずはご相談ください。

男女共同参画苦情処理委員制度について

川口市男女共同参画推進条例第14条の規定に基づき、市が実施している男女共同参画の推進に関する施策または男女共同参画の推進に影響を及ぼすと認められる施策等に対して、市民の皆さんから苦情の申出や意見の提出ができる制度です。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

<https://www.city.kawaguchi.lg.jp/soshiki/01060/020/8/4174.html>





川口市「みんなが主役～家族の育児～」 フォトコンテスト 作品募集中!

◎「パパにまかせて!」「さすがママ!」「パパとママで頑張ります!」「ジジ、ババも育児を楽しんでいます!」「仕事も育児も頑張るよ!」「こんなこともやっています」などなど、育児の楽しさが伝わってくる写真をお待ちしております。

令和3年度 市長賞
『じいじの真似っこ大好き!!』



令和3年度 優秀賞
『四世代 家族そろっておい初め』



令和3年度 優秀賞
『こんなに遠くまで走れるよ!』



受賞者には、
オリジナルカレンダーと
美味しいベーゴマクッキー
詰め合わせをプレゼント!!

※令和3年度 川口市「みんなが主役～家族の育児～」フォトコンテスト受賞作品の一部です。

募集要項

育児を楽しみながら
行っていることがわかる写真

※必ず被写体の了承を得てから作品を応募してください。

■応募資格

川口市に在住または在勤で育児に参加している「パパ、ママ、ジジ、ババ」

★子どもの年齢は応募日現在0歳～小学校6年生まで

★写真は1年以内に撮影したもの、1人1点まで

★応募作品は自作・未発表のもの

■応募方法

応募用紙に、2L判サイズ(127mm×178mm)の写真添えて、協働推進課 男女共同参画係まで郵送または直接持参。

応募用紙は、男女共同参画コーナーで配布。
市ホームページからダウンロードも可。

■応募締切

令和4年11月8日(火)必着

■発表

令和5年2月18日(土)

フレンドシアで開催する「COLORFULふえすた～男女共同参画イベント～」で応募作品の展示と受賞作品の表彰を行います。



※入賞作品については、市内施設などで掲示します。

また、受賞作品は市ホームページ、情報紙等に掲載します。
あらかじめご了承ください。

事務局

川口市 市民生活部
協働推進課

〒332-0015 川口市川口1-1-1 キュポ・ラ本館棟M4階
TEL 048 (227) 7605 FAX 048 (226) 7718

編集後記

市民編集委員
鈴木・田中・中尾・中俣
沼尾・三山・山谷

※五十音順

◆今回から参加の鈴木です。多様な視点や切り口を意識して発信していきたいと思います。よろしく願いいたします。(鈴木) ◆今回から編集委員に参加させてもらっています。皆さんと川口の色んな魅力を伝えていける記事づくりをしていきたいです。(田中) ◆川口市民になって30余年。「住みたい街」、「住み易い街」の要件とは何か?改めて考えてみるキッカケになりました。(中尾) ◆これだけにとどまらず常に変化し続ける多様化社会の中で、工夫や思いやりを持ち続けることの大切さを考えました。(中俣) ◆目指す豊かな社会の実現に向けて、牛歩の如く歩み始めた今、無関心ではいられないことを感じました。(沼尾) ◆今号の編集会議を通して、男女共同参画と一口に言っても、さまざまな視点・切り口があることをあらためて実感しました。(三山) ◆戦争、犯罪、不正など暗い話ばかりがニュースで流れてきます。人はなぜ憎み合い戦うんだろう。宮沢賢治は言っています。争いがあれば「ツマラナイカラヤメロトイヒ」(山谷)